



平成 23 年 12 月 21 日

意見書

山田町 町長 沼崎 喜一 様

私たちは KYT です。KYT というのは、けっばれ山田 Toekomst(トゥーコムスト)の略です。KYT のアドボカシーチームでは、山田町復興計画（行政素案）について、①こうしてほしいなと思ったところ②いいなと思ったところを考えました。そして目を通して、かなえてほしいと思って、この意見書をつくりました。

私たちが言ったことを、復興に取り入れてください。

よろしくお願ひします。

① こうしてほしいなと思ったところ

P20 (4) ①防災無線の再配置について

津波が来た時に防災無線がきこえなくてたくさんの方がぎせいになったから、防災無線が確実にみんなに伝わるように、家に1コずつ設置して少しでもぎせいしゃをへらすようにしてほしいとおもいます。

耳に障害がある人は、サイレンに色をつけて、色別に危険を知らせたり、目に障害のある人は、サイレンの音をたよりに、高台に避難してほしいと思います。

P31 (3) ②地域医療体制の強化と保健活動について

・小児科について

山田町の仮設診療所のような所には子どもが普通にかかれるところがあります。しかし、今は宮古の病院まで車で 30~40 分かけて通っている人もいます。なので、山田町にもちゃんとした常設の小児科を作ってほしいと思います。

・県立山田病院に関する要望について

今回の震災で山田病院が被害を受けたので、海の近くに山田病院を移したのは間違いだったと思います。旧山田病院の場所だったら住宅地にも近いし山田町の人も気軽に通えると思います。

またしかし、今の旧山田病院は不気味で入りにくい建物だと思います。なので、誰でも病院が嫌いな人であっても入れるような清潔感のある開かれた病院にして欲しいです。

さらに震災にも強い建物に作り直したほうがいいと思います。

そのほうがもっとよくなると思います。

以上のことを岩手県への意見書にも載せたいと思っています。

P11 (4) ①防潮堤について

海が好きな人でもなっとくな防潮堤を作ってください。

透明な防潮堤を作ってください。理由は海が見えるし大島が見えるからです。

今度つくる防潮堤はもっと分厚くして作ってください。

あと、防潮堤の高さが違うから勢いが増して、圧力も強くなってきて、鉄砲水みたいになっただので、高さを同じにしてほしいです。

P11 国道 45 号線 「現在のルートを維持」について

もっと内陸側につくった方がいいです。今の場所だと、水がきたときに、すぐ使えなくなります。車の人が今のままのルートだと逃げ遅れると思います。今回の震災で、三陸道に行くまでに渋滞しました。

それか、全体的に土地を高くすればいいと思います。

P9(3)③高台間連絡ネットワークの整備について

高台に逃げるときに坂があると、お年寄りが逃げにくいと思います。高台までの地下通路をつくって逃げやすくした方がいいと思います。水が入る前に通路の入り口をふさげば、時間がかせげると思います。

② いいなと思ったところ

P28 (1)①復旧・復興情報の発信について

みんなどうなるか知りたい、自分たちのまちのことだから知りたいので、いいと思いました。

がれきをどこに持っていくのか？知りたいです。

どのくらい産業が復興したのか知りたいです。

国がどこまで土地を買い上げるのか知りたいです。

情報を発信するときは、ホームページより、広報紙の方がいいと思います。理由は、小さい子からお年寄りまで簡単に読めるからです。ホームページは、インターネットがない人とか仮設住宅の人が困ります。お年寄りはインターネットのホームページが使いにくいです。

山田広報は一家に一冊あった方がいいと思います。

広報紙に載っている情報は、専門用語が分からないので、分かりやすく簡単にしたいです。大人でも分からない人がいるからです。私たちが読んだときも分かりにくい表現がありました。

P29(1)④震災経験の記録と継承について

今回の経験を生かしてほしいです。孫とか将来の人は今回のことを知らないです。私たちも明治とか昭和のことを知らないです。

例えば、すぐに逃げること、支援物資の取り合いをしないこと、ストーブを独り占めしないこと、など伝えたいです。

山田町は、みんなで作ってこそより良いものになると思うので、ぜひ、私たちの意見も取り入れてほしいです。子どもたちがどう思っているか、伝わってくれるとうれしいです。